

2011年4月～2015年3月

Project "Inatahime"

いなたひめプロジェクト
活動報告書



いなたひめプロジェクトは、
島根県内の女子大学生を中心とした子宮頸がん検診啓発グループです。

「いなたひめ」というグループ名は、
出雲神話にでてくる櫛名田比売（くしなだひめ）に由来しています。

櫛名田比売は、
八つの頭をもつヤマタノオロチという魔物に貢物にされるところを、
須佐之男命に助けられ後に妻となりました。

この神話から、ヤマタノオロチを「癌」の象徴 須佐之男命を「治療」の象徴
櫛名田比売を「予防」の象徴ととらえて「子宮頸がんという病気を予防して欲しい」
との願いから「いなたひめプロジェクト」と命名しました。



“LOGOMARK DESIGN”

国立大学法人島根大学 松江キャンパス 井上夢香さん

目 次

1	子宮頸がんってなに？	1
2	活動記録(2011年度)	
	『LOVE 子宮フォーラム』	3
	『女性の健康学習会』	5
	『県内学生と先進的な子宮頸がんに関する啓発活動実践者の交流事業 in 東京』	7
	『おとめ在月での啓発活動』	9
	『ラベルワーク』	11
	『島根大学附属中学校性教育』	13
	『コラム 1 りびえーる掲載記事』	14
	『子宮頸がん検診普及キャンペーン ロックバンドとのコラボレーション』	15
	活動記録(2012年度)	
	『ラベルワーク』	17
	『コラム 2 啓発物作成』	20
	『大学生バンドぼすとん茶の湯会 LIVE 参加』	21
	『山陰 H&B フェスタでの啓発活動～2012～』	23
	『島根大学赤十字奉仕団へのピアエディケーション』	25
	『アジア・オセアニア性科学学会参加』	27
	『がん征圧月間イベント』	29
	『おとめ在月での啓発活動』	31
	活動記録(2013年度)	
	『がん啓発に関する子宮がん学習会』	33
	『山陰 H&B フェスタでの啓発活動～2013～』	35
	『いなたひめプロジェクト～子宮頸がん学習会、交流会～』	37
	『四絡子育てサークル』	39
	『子宮頸がん予防推進活動～女子大生リボンムーブメント交流会～』	41
	活動記録(2014年度)	
	『山陰 H&B フェスタでの啓発活動～2014～』	43
	『雲南市 20 歳の成人式での啓発活動』	45
	『出雲キャンパスでの子宮頸がん検診実施』	47
3	資料編	
	◎子宮頸がん検診普及キャンペーン ロックバンドとのコラボレーション	49
	◎山陰H&Bフェスタでの啓発活動	52
	◎アジア・オセアニア性科学学会 口演の発表原稿	56
4	会 則	59

“子宮頸がん”ってなに？

子宮頸がんは、女性の子宮の入り口にある“子宮頸部”にできるがんのことです。

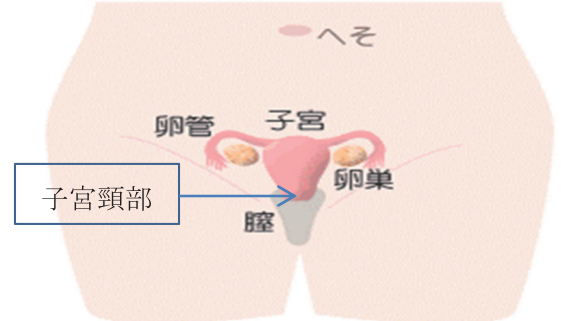
●原因は？

子宮頸がんの原因はウイルスで、その名前は“発癌性ヒトパピローマウイルス HPV”。

HPVには約150種類の亜型があり

その中の約15種類に発癌性があります。

発癌性HPVの中のHPV16型、18型は子宮頸がんの約70%に關与しています。



●どうやって感染するの？

発癌性HPVはSEXによって感染します。

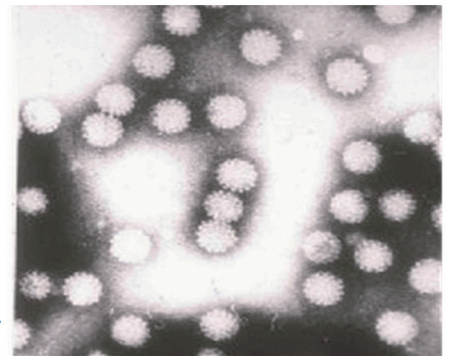
性交経験者のほとんどが一度は感染すると言われています。

●感染したら、みんな子宮頸がんになる？

性交経験者のほとんどが一度は感染しますが症状はなく、ほとんどのひとは自然にウイルスを排除しています。

たまたま子宮頸部でウイルス感染が持続すると細胞が変化し、前がん病変（異型細胞）になることがあります。

前がん病変になってもそのほとんどは正常細胞に戻ります。一部で子宮頸がんへと変化を続けることがありますが、初期の子宮頸がんでは症状はありません。



●予防方法はありますか？

①子宮頸がん予防ワクチン

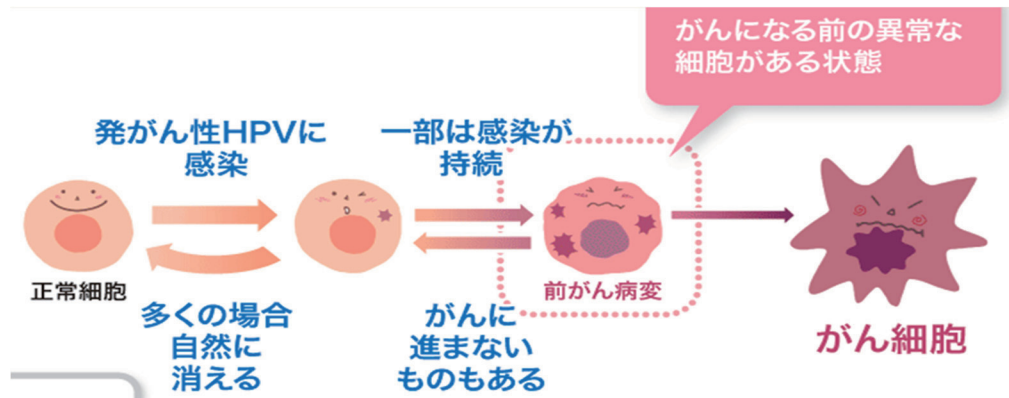
これは発癌性の強いHPV16型、18型に対するワクチンで予防効果は約70%あります。ワクチン接種後も必ず子宮頸がん検診を定期的に行うことが大切です。

②子宮頸がん検診

子宮頸がん検診では“細胞診検査”で細胞が変化しているかどうか検査します。

また同時に“HPV検査”を行い発癌性HPV感染の確認をすることもできます。

細胞診検査とHPV検査の両方が陰性であれば、3年間には子宮頸がんになるリスクはほとんどありません。



●治療方法は？

初期の子宮頸がんが発見すれば「円錐切除術」という手術をおこない、将来、希望すれば妊娠することもできる状態で完治できます。しかし、進行してしまうと子宮を摘出しなければなりません。さらに発見が遅れると命を失うこともあります。

症状のないときからの定期的な子宮頸がん検診で、早期に発見することが大切です。

どうして“子宮頸がんの啓発活動”をするの？

●子宮頸がんは“若い女性のガン”なんです！

子宮頸がんは20歳代から増加して、30歳代の罹患者が最も多い若い女性のガンです。ワクチンや検診で予防できる病気なのに、罹患する若い女性は増加し続けています。そして、子宮や命を失う若い女性が増加しているのです。

●日本は子宮頸がん検診受診率が低いんだ!!

子宮頸がん検診は、20歳からが対象です。しかし受診率はとても低いです。そのために発見が遅れてしまい子宮や命を失う若い女性が増えています。その理由として、日本では病気などに関する教育がほとんど行われなかったことがあります。だから、若い女性のガンが増えていることも自分が検診受診対象ということにも気がついていないのです。また、「いつ、どこで、どうやって受診するのか？」といった大切な情報が若い女性に届いていないことも受診しない原因と考えられます。

●啓発活動の目的は？

若い女性に、必要な知識を届けることで若い女性自身に「検診が必要なんだ！」と気づいてもらい、受診に必要な情報を提供して「受診行動を起こしてもらおう」ことです。予防できる子宮頸がんという病気で、大切な子宮や命を失う女性がいなくなることを目指しています。

